

潤いの森 1月

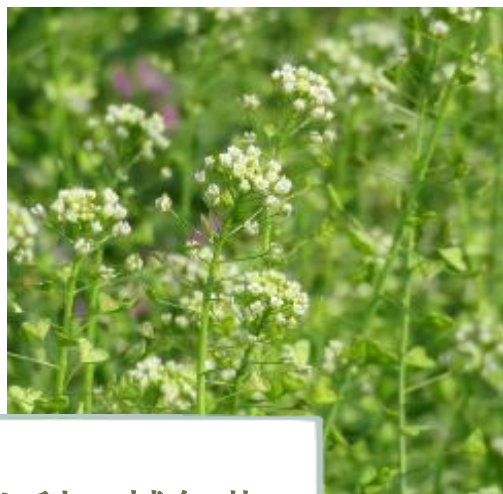
潤いの森では、では、春の七草のうちナズナ、ハコベラ、セリが自生しています。
春の七草の風習は、中国の「人日（七種菜羹）」と日本の「若菜摘み」が融合したもので、平安時代の文献『延喜式』にも記録があります。

潤いの森で見られる 春の七草



ナズナ

アブラナ科 越年草
花期：3-6月



ハコベラ (コハコベ)

ナデシコ科 多年草
花期：1-12月



セリ

セリ科 多年草
花期：7-8月



スズナ (カブ)

アブラナ科 越年草
収穫期：10-12月 (秋撒)



ホトケノザ (コオニタビラコ)

キク科 多年草
花期：3-5月

スズシロ (ダイコン)

アブラナ科 越年草
収穫期：10-12月 (秋撒)



ゴギョウ (ハハコグサ)

キク科 多年草
花期：4-6月



潤いの森で 見られる冬鳥



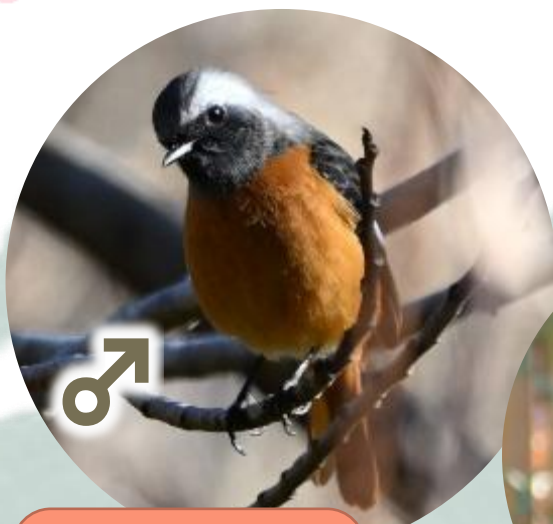
潤いの森では、冬鳥を5種類観察できます。日本国内を移動する鳥のほか、シベリアや中国北東部から海を越えて渡ってくるものもあります。

冬鳥は寒さに強く、渡り際には数千キロもの距離を飛ぶこともあります。中には、体重わずか数十グラムで日本までやってくる小鳥もいて、その驚異的な体力はまさに自然の不思議です。



ツグミ

ツグミ科 全長：24cm
観察時期：11-4月



ジョウビタキ

ヒタキ科 全長：15cm
観察時期：11-3月



♀

海外から 渡ってくる冬鳥



シロハラ

ツグミ科 全長：24cm
観察時期：11-3月

シベリアや 中国北東部から

日本の中で 移動する冬鳥

北海道や 東北の山地から



アカハラ

ツグミ科 全長：24cm
観察時期：11-3月



アオジ

ホオジロ科 全長：16cm
観察時期：11-3月

